

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
教育相談実践演習		森下 剛	演習	(通年で) 4	通年 (後期)
必修・選択	修了要件	選択必修			
	資格要件				
学習目標	教育相談の意義と目的について理解し、教育相談における今日の課題について理解し、教育相談に関する基礎的知識と技法を身につけることによって、教育相談に臨む基礎的態度を養う。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
16	保護者との教育相談（１）	保護者との教育相談の実際の理解			
17	保護者との教育相談（２）	特別支援教育に関わる保護者の教育相談の実際の理解			
18	ソーシャルスキルトレーニング	ソーシャルスキルトレーニングの技法の習得			
19	構成的グループエンカウンター	構成的グループエンカウターの技法の習得			
20	アンガーマネジメント	アンガーマネジメントの技法の習得			
21	アサーショントレーニング	アサーショントレーニングの技法の習得			
22	事例検討の方法と意義	事例検討の進め方と意義の理解			
23	いじめの事例検討	いじめの事例検討を通して、その対応の考察			
24	不登校の事例検討	不登校の事例検討を通して、その対応の考察			
25	非行の事例検討	非行の事例検討を通して、その対応の考察			
26	学習障害（LD）・注意欠陥多動障害（ADHD）の事例検討	LD・ADHD の事例検討を通して、その対応の考察			
27	緘黙の事例検討	緘黙の事例検討を通して、その対応の考察			
28	広汎性発達障害の事例検討	広汎性発達障害の事例検討を通して、その対応の考察			
29	虐待の事例検討	虐待の事例検討を通して、その対応の考察			
30	教育相談の今後の課題	教育相談の今後の課題の考察			
参 考 書	新井英靖『『気になる子ども』の教育相談ケースファイル』ミネルヴァ書房 2008 久我利孝「発達障害の教育相談」同成社 2008				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	これまでの実習や短期大学で学んだ教育相談にかかわる知識や技術をさらに高めるための授業である。自己学習と発表を多く取り入れる				
評価の方法と時期	定期試験の得点を基準とし、授業態度・レポート内容を加味し総合的に評価する。定期試験後に評価を実施。				